



和学鍛

朝明中学校通信
令和5年9月19日号
🌱🌱🌱🌱

四日市公害と環境未来館 ～歴史を知り、未来を考える～

12日(火)に2年生が四日市公害と環境未来館とプラネタリウムへ行ってきました。本市の子どもたちは、小5と中2の二度訪れることになっています。バス6台に分乗し、いざ、そらんぼ四日市へ出発。人数が多いため、到着後は2グループに分かれて見学しました。

四日市公害と環境未来館では、講師の先生から公害の歴史や概要を聞きました。また、公害判決の歴史を映像で学びました。

展示見学では、解説員さんから、詳しいお話を聞きました。小学校のときにお世話になった先生が解説員になられていて、「大きくなったなあ」と懐かしい再会の場面もありました。



開館30周年を迎えた四日市市立博物館(時空街道)も見学し、四日市市が誇るプラネタリウムを堪能しました。久しぶりの校外学習に緊張気味の2年生でしたが、丁寧に教えてくださったスタッフの皆さんのおかげで、和やかな見学となりました。

四日市公害判決から50年以上が経過し、市民である朝明っ子たちにとっても、四日市公害を身近に感じるようになってきています。時空街道で見た久留倍の村、東海道の宿場町のにぎわい、高度経済成長期と四日市公害、市民・企業・行政が一体となったその後の環境改善の取り組み。今回の見学で、あらためて本市の歴史を振り返ることができました。

歴史を「知る」、これからの環境問題を「学ぶ」、未来のために「活動する」。今回の学びをさらに深め、未来のための活動につなげていきたいですね。少々駆け足のスケジュールだったので、よければお休みの日にもう一度ゆっくり訪問してみてください。



大矢知地区保護者の皆様へ ～安全・安心な通学路を目指して～



本校通学路のうち、特に大矢知地区内のルートを変更して1年あまりが経ちました。この変更により、安全になった箇所もある反面、新たな課題も見えてきたところです。そこで、特に該当地区の保護者の皆様へ通学路に関するアンケート調査を実施します(後日、H&Sにて連絡します)。調査結果は、PTA本部・指導部と共有し、連携して通学路安全対策をすすめていきます。ご協力のほど、よろしくお願いします。

きずなを深めよう！ ～体育祭 縦割り練習が始まります～

もうすぐ体育祭。実は今年もコロナ禍同様、2種目で行う予定でした。しかし、7月に3年生室長会から先生たちへ要望書が届きました。「入学以来、コロナ禍で思い出をつくる機会が少なかった。今年の体育祭は、みんなで楽しめる種目をもう一つ取り入れてほしい！」と。一度は職員会議で決定した企画です。行事精選や熱中症対策は大切。一方で、自分たちの学校生活をよりよく変えていこうとする3年生の熱い思いは受け止めたい。両方を叶える策はないものか…。賛成も反対もありましたが、夏休み中に検討を重ねた結果、今年は3種目で実施、全学年5クラスの特長を生かし、縦割り練習を取り入れることになりました。

みんなで学校を創っていきって、こういうことの積み重ねなのかな、と感じた夏でした。

今週から本格的な縦割り練習が始まります。どんな風景が見られるのか楽しみです。



朝明中学校体育祭 9月27日(水) 午前 *給食あり、閉会式のみ午後教室で実施
雨天順延(9/28,29) 午前中は保護者の方の観覧が可能です。

学校部活動の「自主的・自発的な加入」 ～四日市市全体の取り組み～

令和6年4月から、四日市市立の全中学校で、学校部活動は生徒の「自主的・自発的な加入」となります。現在、多くの中学校では、学校部活動が「原則全員加入制」となっており、それを変更するものです。

一方、本校は、平成14年度から部活動の任意加入制を導入しています。原則全員加入は1年生1学期のみとなっており、その後、自己都合で退部することも可能です。また、学校設置外のスポーツ・文化活動への参加を理由に、最初から本校部活動に入部しない生徒もいます。

本校においては、今回の市の通知に基づき、令和6年度入学生から1年生1学期の原則全員加入を廃止する予定です(その他の方針に変更はありません)。



保護者・地域の皆様へ ～学校部活動の未来～

全国的な少子化とそれに伴う教員減により、学校部活動は、その在り方を見直す時期に入っています。本校も例外ではありません。来月の中体連新人大会は、3つの部が他校と合同チームを組まなければ出場できない状況です。加えて、大規模校だった頃の部活動数を維持してきた結果、生徒・顧問ともに人数が不足し、以前のような活動は難しくなってきました。

これらの対策の一つとして、全国的に部活動の地域移行がすすめられています。本市では、一部中学校で試験的に導入されているほか、軟式野球・剣道・吹奏楽において、年に数回の合同練習が計画されています。また、本年度は、中体連県大会以上でクラブチームの出場が認められるなど、徐々に変化もみられます。しかし、地域受け皿の不足など解決すべき課題も多いようです。



令和の時代、学校外での活動が多様化し、子どもたちの選択肢も広がっています。部活動を含む様々な活動において、自分のやりたいことを主体的に選択し、目標を持って取り組んでいくことが、子どもたちの成長につながります。今回の市の通知を機に、本校においても、保護者や地域の皆様とともに、学校部活動の未来を考えていきたいと思えます。